



実習生みんなでシュプレヒコール (福山大)



実習に向けて集合写真 (金沢大)

3 回目を迎え全 74 校で長期実務実習

「ホワイトコートセレモニー」として行われた (同志社女子大)



学部長から 1 人ずつ白衣が手渡された (鈴鹿医療科学大)



決意を表明する学生代表 (国際医療福祉大)



新 5 年生方イダンスに先立ち行われた白衣授与式 (東薬大)



クラス別に薬剤師の誓いを唱和 (武庫川女子大)

白衣授与式を開催し実習生を壮行



白衣の袖に腕を通す学生たち (昭和大)



白衣と名札を授与された学生が宣誓 (岩手医科大)

「薬剤師・医療人」としての自覚促す

今年も 2011 年度共用試験に合格者した学生の長期実務実習がスタートした。今回で 3 回目を迎える長期実務実習に各大学から送り出す学生数は 1 万 0450 人ほどになる。今回は 08 年度に薬学部が新設された鈴鹿医療科学大学と立命館大学も加わり、全国の薬系大学 74 校 (学部) 全てが出揃ったことになる。共用試験合格者のうち 31 人は 4 年制学科を卒業、修士課程を修めた学生であった。ただ、合格者総数は 10 年度を下回った。

一方、各大学では実習に先立ち「白衣授与式」が行われたが、東京薬科大学、金沢大学、同志社女子大学では 3 月に「新 5 年生」に対し実施された。他大学の多くは 4 月以降、「白衣式」「白衣授与式」「ホワイトセレモニー」といった名称で実施された。多くは学部長 (教員) から白衣を授与された学生の代表が「誓いの言葉」を述べ、実習に臨む——といった形で式が遂行されたようだ。各大学の様子を写真で紹介する。